

投資の基礎講座 「分配金を取るか、長期的な資産形成か」

CFP®認定者
日本FP協会群馬支部副支部長

9月末の株式投資信託(公募)の残高は49兆7547億円と4ヶ月連続で過去最高を更新しました。うち銀行窓販による残高は全体の50.9%と半数を超えました。また、タイプ別では多額の資産に分散投資する「ファンド・オブ・ファンズ」や「バランス型」の伸びが目立ちました。

ファンド・オブ・ファンズやバランス型ファンドの大半が、外国債券や国内外の株式・債券、不動産投信などいわゆる資産分散型のファンドでかつ、毎月、隔月ないしは3ヶ月ごとに分配金が支払われるものとなっています。

分散投資はリスク商品に投資をする際にリスクを軽減する手段として用いられますが、これは、さまざまな投資対象に分散することで価格の変動の仕方がそれぞれ異なり、組み合わせにより変動割合を軽減する効果があるために行われます。しかし、変動割合を軽減するには時間をかける、すなわち長期投資を行わなければ効果はありません。そして長期投資による資産形成には「複利効果」を活用することが大切です。分配頻度が多いファンドは複利効果は望めませんので、長期的な資産形成を目的とする場合にはあまり適切なファンドとはいえません。

反対に、「自分年金」の手段として毎月分配金を受け取ることを目的としているのであれば、分配頻度が多いほうがよいでしょう。しかし、分配の度に基準価額が低下することは認識しておく必要があります。

目的に合った商品選択が必要です。

先週の金融市場データ

週間高低表(終値ベース)	週初	高値	安値	週末終値
日経平均株価	16,436.06円	16,536.54円	16,368.81円	16,536.54円
TOPIX	1,634.21	1,634.83	1,613.64	1,628.00
東証1部単純平均	456.50円	456.50円	443.83円	449.90円
東証1部売買高	1,544,897千株	1,901,067千株	1,544,897千株	1,842,261千株
ニューヨークダウ平均	11,857.81ドル	11,960.51ドル	11,852.13ドル	11,960.51ドル
NASDAQ	2,311.77	2,357.29	2,308.27	2,357.29
10年国債利回り	1.705%	1.775%	1.705%	1.775%
債券先物中心限月	134.66円	134.66円	133.90円	133.90円
無担保コールO/N	0.239%	0.269%	0.239%	0.263%
円TIBOR 1ヶ月	0.36364%	0.36364%	0.36273%	0.36273%
円TIBOR 3ヶ月	0.44182%	0.44182%	0.44182%	0.44182%
ドル/円相場	117.99円	119.48円	117.99円	119.16円
ユーロ/円相場	149.66円	150.16円	149.66円	149.72円
1ユーロ=ドル	1.2684ドル	1.2684ドル	1.2542ドル	1.2564ドル
米国FFレート	5.2500%	5.2500%	5.2500%	5.2500%
米国10年国債利回り	4.75%	4.80%	4.75%	4.80%

スーパー定期(ニュー定期)金利表

平成18年10月16日現在

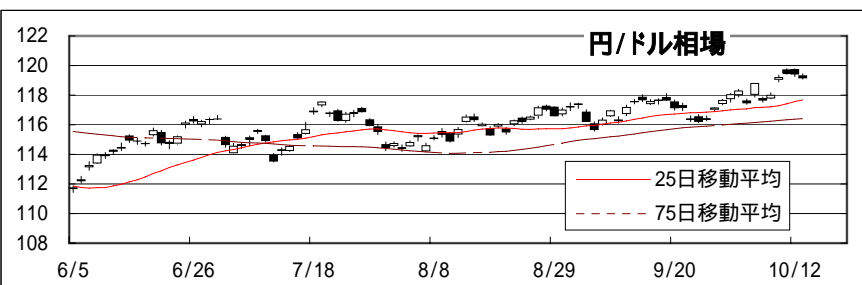
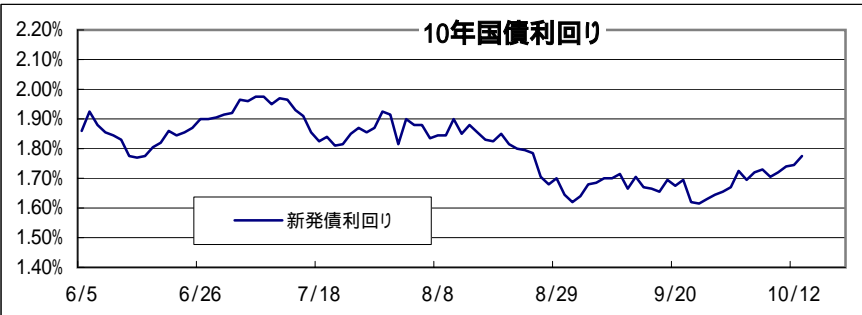
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年
群馬銀行	0.15%	0.15%	0.17%	0.25%	0.30%
東和銀行	0.15%	0.15%	0.17%	0.25%	0.30%
高崎信用金庫	0.15%	0.15%	0.17%	0.25%	0.35%
郵便局	0.15%	0.15%	0.17%	0.25%	0.30%

FPフォーラム開催のお知らせ

後援：
金融庁、
前橋市、
前橋市教育
委員会
前橋商工会
議所
群馬県教育
文化事業団、
上毛新聞社

ファイナンシャル・プランナー(FP)と一緒に
お金の知恵を学ぶ 暮らしのヒントを学ぶ
家族でつくる「あんしんノート」
11月4日(土) 13:30-16:00(受付開始13:00)
生涯学習センター 1階多目的ホール
群馬県文芸会館 2F-202
宮一幸子(みやいち さちこ)
ファイナンシャル・プランナー(CFP®), DCFP®(投資)
先着200名 ◆参加費 無料
無料個別相談会
生活設計・相続
住宅ローン・貯蓄
確定拠出年金
(講座)

主催 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 群馬支部
〒370-0071 群馬県上野町1130-2 TEL:027-340-1311 FAX:027-340-1312
E-mail: jfnp-gunma@so.wind.jp URL: http://www.jfnp-gunma.net



今週の株式相場見通し

先週の株式市場は、北朝鮮が核実験を行ったと発表したことから安く始まったものの、各国の北朝鮮に対する足並みが揃っていたことや米国経済のソフトランディング期待が高まり米国株が堅調に推移したことから上昇基調となりました。

今週の株式相場は、米国経済のハードランディング懸念が薄れてきたことや国内企業業績が好調なことから引き続き堅調な値動きが予想されます。

しかし、日経平均株価が16500円を超えてきたことから利益確定の売りも出やすく上値は限られるものと思います。

円安基調に変化が見られないことから輸出関連株に上方修正期待が高まり買いが入りやすくなるものと思います。

今週の債券・為替相場見通し

先週の債券相場は、北朝鮮問題で質への逃避が予想され堅調な値動きが期待されました。しかし、株式相場が堅調だったことや9月の企業物価指数が25年半ぶりの高い伸びとなったことなどから、警戒感が高まり10年国債利回りは1.775%まで上昇しました。

今週の債券相場は、一本調子の金利上昇は考えづらいこと、原油価格の下落などでインフレ懸念も遠のいたことから落ち着いて値動きとなりそうです。

10年国債利回りは1.72~1.80%程度での推移が予想されます。

先週の為替相場は、米国経済のソフトランディング期待からドル堅調な展開となり1ドル=119円台後半まで円が売られました。

今週の為替相場は、引き続き北朝鮮の核実験問題と内外金利差縮小が見込めないことから、円は売られやすい状況が続くものと思います。1ドル=120円台乗せもありそうです。

CFP®, CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd. (FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

本資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。ここに記載されているデータ、は信頼できる各種情報源から入手したのですが、その正確性や完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は資料作成時点における個人的意見であり、ライフプラン21が保証するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。